

独立行政法人北方領土問題対策協会の平成 24 年度評価結果の反映状況

○ 役員人事への反映について

・内閣府独立行政法人評価委員会による平成 24 年度評価結果において、役員の異動につながる評価はなかったことから、評価結果を踏まえた役員の異動は行わなかった。

○ 役員報酬等への反映について

・給与法に準拠した水準とし、独立行政法人北方領土問題対策協会役員給与規程に基づいて支給しており、期末特別手当において、個別に業績を勘案し、役員報酬を増減できることとしている。

○ 運営・予算への反映について

評価項目	平成 24 年度における 主な指摘事項	反 映 状 況
業務運営の効率化に関する事項	・一者応札の縮減のため、十分な入札期間の確保や、新規参入者を考慮した仕様書の見直しなどを図るべく、努力されたい。	・新規参入者を考慮した仕様書の見直し等を行った結果、平成 25 年度においては、一者応札、一者応募はなくなった。
国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	・新船「えとぴりか」の有効かつ効果的・多角的な活用を含む事業全体の新たな展開を期待したい。	・新船「えとぴりか」を四島交流事業だけでなく、一般国民、特に青少年に対する啓発事業に利用するため、全国の港を巡回しながら次代を担う青少年等に研修を行う「えとぴりか」巡回研修事業を開催した。
総合評価（業務実績全体の評価）	・平成 25 年 4 月から SNS の活用に向けて、北方領土問題がより身近な問題として認識されるための工夫をしたと認められる。北方領土問題について、広く国民に周知されるよう、一層の取組を期待したい。	・北方領土問題広報キャラクター「エリカちゃん」を主人公にした SNS（Facebook・Twitter）を活用し、北方領土関連イベントの事前告知等の最新情報を公開するとともに、同キャラクターを主人公とした北方領土の豆知識を紹介する 2 次元アニメーション動画や、北方領土に関する基礎知識を楽しく学べる北方領土学習コンテンツをホームページに公開し、北方領土問題を広く国民に周知した。